

美 263 学

〈絵画〉と〈模様〉のあいだ ——一九二〇～三〇年代における柳宗悦の〈工藝〉観をめぐって——	入江 繁樹	1
壁画《自由》（一九五一）に見る「地方」への眼差しと 猪熊弦一郎のモダニズム	内山 尚子	13
ハンスリック『音楽美について』における純粋音楽作曲論 ——主観と客観の二重性——	小島 広之	25
日本における西欧の和声理論の受容と和声学の展開 ——訳語と和音記号を中心に——	西田 紘子	37
第七十四回美学会全国大会報告		
大会報告		49
発表要旨（一覧は 122-126 頁を参照）		56
書評		
津上英輔 著『美学の練習』春秋社、2023 年	杉山 卓史	93
永井隆則 著『絵画における真実——近代化社会に対するセザンヌの実践の意味』 三元社、2022 年	大木麻利子	98
金井直 著『像をうつす——複製技術時代の彫刻と写真』 赤々舎、2022 年	小田原のどか	104
例会・研究発表会発表要旨		110
学会消息・編集後記		118
欧文要旨		128